

あいち農産物生産流通レポート

平成30年3月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ブドウ「クイーンニーナ」の栽培マニュアルを作成 (農業総合試験場)	1
・ 首都圏で県産農林水産物プロモーション 「Eat more Aichi!あいち県産品ブランドフェア」を開催しました (食育消費流通課)	3
◎ 東日本情報	
・ 京浜市場愛知県野菜連絡会、第2回キャベツ競合 産地調査を実施 (東京事務所)	5
◎ 西日本情報	
・ 平成28年の県内卸売市場における青果物・花きの 流通動向について (食育消費流通課)	7
◎ フラワーページ	
・ 「あいち花フェスタin東三河」を開催しました (園芸農産課)	8
・ 花き流通情報連絡協議会による消費宣伝活動 (東京事務所)	12
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	13
・ 名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	14
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	26

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。
それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

ブドウ「クイーンニーナ」の栽培マニュアルを作成

農業総合試験場

1 はじめに

従来のブドウの赤系・大粒品種は着色良好な果実を生産することが難しく、特に近年は夏期の高温により着色不良果の発生が増えていました。このため、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所(現：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門)は、生産者からの要望に応え、着色しやすく大粒で食味の良い赤系品種「クイーンニーナ」を育成しました(2011年3月品種登録)。

「クイーンニーナ」は高級品種として高値での販売が期待できますが、県内での試作結果では、夏期の高温による日焼け果の発生が多く、日焼け対策のために遮光すると着色不良果が発生するという問題が確認されました。

そこで、農業総合試験場では高品質安定生産を行うための試験研究を行い、愛知県版「クイーンニーナ」栽培マニュアルを作成し、公表しましたので紹介します。

2 クイーンニーナの品種特性

「クイーンニーナ」は、「ブドウ安芸津20号(「紅瑞宝」×「白峰」)に「安芸クイーン」を交雑して育成された四倍体品種です。ジベレリン処理を行い、種なし栽培することにより着粒が安定します。

種なし栽培の「巨峰」よりも開花は3～4日程度遅く、収穫時期は1週間から10日遅くなります。

果実は鮮紅色で、果肉は硬くて噛み切りやすく、しっかりとした肉質です。果粒は15g以上の大粒で、糖度は高く酸味が少なく、食味が極めて優れています。



「クイーンニーナ」の果実

3 栽培マニュアルの概要

(1) 「クイーンニーナ」の生産目標と品種特性を發揮させる栽培指標

「クイーンニーナ」は種なし栽培での品質が優れており、消費者の種なし果実を好むニーズにも対応するため、種なし栽培に限定したマニュアルを作成しました。

同品種の生産目標と品種特性を發揮させる栽培指標を表1に示しました。

表1 「クイーンニーナ」種なし栽培の生産目標と品種特性を發揮させる栽培指標

果粒重	16～20g	新梢本数	5～6本/m ²
1房粒数	24～30粒	新梢長	開花直前 100～120cm(12～13節)
1房重量	500～600g		収穫直前 150～200cm(16～18節)
10a当たり着房数	2,000～2,300房	葉面積指数 (収穫直前)	2.2～2.5 (副梢の葉を含む)
10a当たり収量	1,200kg程度		
果実糖度	19%以上		

(2) ポイントとなる栽培管理

ア 植物成長調整剤の利用

確実に種なしにするため、開花前にストレプトマイシン（商品名：アグレプト液剤）200ppm を散布します。その後のジベレリン処理については、2つの方法があります。

【ジベレリン2回処理法】

1回目のジベレリン処理は「巨峰」と同様に満開3日後に25ppmで行います。2回目のジベレリン処理は満開10～15日後に25ppmで行います。ホルクロールフェニユロン（商品名：フルメット液剤）は、過度な着粒数の増加や、果粒肥大による着色不良の原因となるので、両処理とも使用しません。

【ジベレリン1回処理法】

満開5日後に、ジベレリン25ppmとホルクロールフェニユロン10ppmの混合液を処理します。この処理法での果粒肥大は2回処理法よりやや劣りますが、着色は良好になります。

イ 着色向上対策

赤系品種は果房に光が当たることで着色が良好になるため、適度に果房に光が当たる樹形管理をします。葉面積指数（葉の重なり具合）は2.2～2.5と棚下が明るい状態とし、1㎡当たりの新梢本数は5～6本とします。

目標収量は10a当たり1,200kg程度に止めます。1房重量を500～600gとすると、10a当たりの着房数は2,000～2,300房になります。

果実袋は遮光率の低い薄手又は透明なものを用いるとともに、棚下に光線反射マルチを敷くことで着色を向上させます。



収穫期前の着果状況

ウ 夏期高温対策

着色向上対策として明るめの樹形管理をすると、日焼け果などの高温障害が発生しやすくなるため、過度に光が当たる場合は果房に傘かけを行います。

また、着色開始期以降の晴天日に細霧散水チューブ等を用いて、袋の掛かった果房に直接散水すると果房温度が下がり、高温障害を回避できます。散水は着色向上にも効果があります。

4 おわりに

愛知県のブドウ栽培面積の約7割は「巨峰」となっていますが、消費者のニーズが多様化する中、「クイーンニーナ」が本県の新たなブランド品種として産地化されることが期待されます。

なお、「クイーンニーナ」の栽培マニュアルは愛知県農業総合試験場 Web ページ (<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>) の「研究の成果（技術情報）」ページでも公開しています。

首都圏で県産農林水産物プロモーション 「Eat more Aichi! あいち県産品ブランドフェア」を開催しました

食育消費流通課

愛知県では、県産農林水産物のブランド力の強化や知名度向上とイメージアップを図っています。本年度は首都圏に向けた取組として、平成30年2月11日、12日の2日間、千葉県船橋市の大型ショッピングモール「ららぽーとTOKYO-BAY」において販売や試食イベント等を開催し、「あいち県産品」の魅力をPRしました。

1 来場者の概要

来場者数は、各日6,000人で合計12,000人（推計値）となり、多くの方が来場されました。また、年齢層は40歳代以下が7割を占め、これまでの県内イベントよりも若い世代が多く、客層の違いが顕著でした。居住地別では、80%が千葉県内で、次いで東京都が13%となりました。

2 販売

今回28ブース34事業者が県産農林水産物とその加工品の販売を実施しました。出店事業者からは、販売が苦戦したものの、これまでと違う消費者層の声を聞くことができ、「PRのいい機会となった」などの前向きな意見が多く聞かれました。まだまだ認知度向上の必要がありそうです。

3 ステージイベント

ステージでは森岡副知事による県産農林水産物のPRやタレントのキンタロー。（岡崎市出身）とのPRトークなどが行われたほか、世界的に有名なフラワーアーティストの丹羽英之氏（豊田市出身）によるあいちのフラワーパフォーマンスや料理研究家の寺田真二郎氏（安城市出身）によるあいちの食材料理ステージなどが行われました。寺田氏からは、「しらすと守口漬けの和風オムライス～青のりあんかけソース～」が紹介されました。



森岡副知事とキンタロー。のPRトーク



寺田氏の料理ステージ

4 県産農林水産物のブランド力強化の取組

本県の主要品目である名古屋コーチン、うなぎ、しらす、花、小麦、抹茶について試食などのPRを行いました。フラワーブーケづくりと名古屋コーチンは特に人気があり、いずれも開始早々に定員となりました。また、抹茶体験についても珍しさなどから予定人数を大幅に上回る来場者の参加がありました。試食提供したきしめん、うなぎ、しらすについては、美味しいとの声が多数聞かれ、愛知の農林水産物の魅力を伝えることができました。

《試食等の詳細》

- 名古屋コーチン：1000人に対して卵（2個）の配布と名古屋コーチンについてのアンケート
- うなぎ、しらす：串うなぎの試食600人、しらすの試食400人
- 花：フラワーブーケづくり体験：100人
- 小麦（きぬあかり）：きぬあかりを使用したきしめんと菓子の試食
- 抹茶：石臼挽きと点前体験の実施（参加者470人）



フラワーブーケづくり体験



きしめんの試食



抹茶の石臼挽き体験



出展者ブースの様子

5 来場者の声

来場者からは、「愛知の農林水産物の豊富さがわかった」、「知らないことが多く、来て良かった」、などの声が聞かれました。また、今回のフェアでほとんどの方が「愛知県の農林水産物のイメージが良くなった」、「認知度が上がった」と回答しており、愛知県産農林水産物のブランド力強化と知名度向上に資する取組となったのではないのでしょうか。

今後も県内外での効果的なブランド力強化の取組が必要であり、さらなる効果が期待できると思われま

京浜市場愛知県野菜連絡会、第2回キャベツ競合産地調査を実施

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会では、年末需要や年明けの販売環境を見据える12月と、春系の入荷が本格化する前の2月に、競合産地の生育・出荷進捗状況を調査するとともに、関係者による情報共有を行っています。

12月調査に続き、2月20日（火）に、卸売会社12社、産地（JA豊橋、JA愛知みなみ）、JAあいち経済連とともに、千葉県、神奈川県産地調査を行いましたので報告します。

1 競合産地調査

競合産地である千葉県銚子市、神奈川県三浦市、同横須賀市で産地調査を行いました。両産地とも冬系はほぼ終了しつつあり、春系は作付面積こそあるものの、例年に比べて1～3週間遅れている畑が目立ちました。また両産地とも雨が少なく、土が乾ききった状態でした。

(1) 千葉県（銚子市）

冬系：ほぼ終了という状況。近い時期は出すものがない。

春系：昨年台風後の植え直し等により作付面積は確保されている。生育は全体的に遅れていることを除き順調に見える。4月以降に荷が集中する気配あり。

(2) 神奈川県（三浦市、横須賀市）

冬系：現状の出荷量はあるが、これ以上増えることはなく、2月末には減少する。3月は残量が出る程度となる。

春系：作付面積は例年通り確保されているが、収穫は早くて3月下旬、多くが4月中旬以降となると思われる。1～3週間遅れの見立てで、外葉が十分に育たず、葉の巻きが弱くなる懸念もある。



銚子市：拳骨程の大きさの春系



三浦市：結球不良が懸念される

(3) まとめ

両産地とも10月の台風や冬場の低温等により小玉傾向と生育遅れが目立ちました。また、全国的な不作により相場が非常に高値で推移したためか、出荷が前倒し傾向となり、冬系の切り上がり及早まる見通しです。このため、3月前半は品薄状態が続くことが予想されます（表1）。

表1 関東産地の見通し

- 関東産地の冬系は、2月一杯で前倒ししてほぼ終了する
- 各産地とも春系の生育が遅れており、入荷が揃うのは3月下旬以降となる
→2月末～3月前半、冬春・品種の継投が崩れ、品薄が続くと予想される
- 各産地とも春系が遅れていること以外は順調。面積もあり4月以降に集中する
→5月連休前後で入荷の集中により飽和状態となることが懸念される

2 品質調査（出荷物抜き取り調査）

競合産地調査と同日に市場の出荷物を抜き取り、品質調査を実施しました。冬系は、県内JA（豊橋、愛知みなみ（部会、一般）、ひまわり、あいち知多）と愛知商系、千葉（銚子）の7種類、春系は、県内JA（豊橋、愛知みなみ（部会、一般）、ひまわり）と愛知商系、千葉（銚子）、神奈川（三浦）の7種類を調査しました。

冬系は品質不良、重量不足はありませんでしたが、昨今の作況を示す小振り傾向となりました。春系は全体的に緑色が薄く、寒さによる葉先の傷みなどの症状が見られました。



抜き取り調査した出荷物
（不足はないが小振りが目立つ）

3 情報交換会

(1) 県内産地情勢（2月20日現在）

冬系：ここまでの進捗率90%程度か。3月収穫の「冬のぼり」については、外葉ができておらず、小玉での出荷となる。

春系：JA豊橋では、今後出荷される「ゆいな」が春系の33%を占めており、3月に入ってから数量的に増加する。JA愛知みなみでは、ここきて「春岬」が増え、半分程を占める。「春岬」とこれに続く「春のぼり」が10月の長雨の影響を一番受けており、このまま大きくなるか、抽だいでするか微妙な状況。階級は小玉で推移すると思われる。

(2) 市場情勢（2月20日現在）

春系：現状の高価格では荷動きを悪化させる懸念がある。消費者の手にとる価格にいつ戻るか（戻すか）の見極めが必要。3月に入れば春節等で止まっていた輸入物が大量に出回る。春系の集中も予測されることから売り方、出し方をよく考える必要がある。

(3) 総括

情報交換会では、多くの産地からの入荷量が前年比6～7割に落ち込むなか、8割越えを維持してきた愛知県産地の各産地に対して感謝の言葉が述べられました。こうしたことの積み重ねが愛知県産地の強みと産地への信頼に繋がっていくと思われれます。今後、3月以降も値動きの大きい難しい年になると予想されますが、産地と市場が情報を密にして小売や消費者をつなぎ止めていくことが重要です。

平成 28 年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向について

食育消費流通課

1 名古屋市中央卸売市場及び県内地方卸売市場の青果物について

(1) 野菜

平成 28 年の名古屋市中央卸売市場の野菜取扱数量は 38 万 8 千 t で、5 年前より 1 万 1 千 t 減少（平成 23 年比 97.2%）しました。このうち、県内産野菜は 7 万 3 千 t でした（表 1）。一方、県内地方卸売市場の野菜取扱数量は 12 万 1 千 t で、5 年前より 5 万 5 千 t 減少（同 68.7%）しました。このうち、県内産野菜は 5 万 1 千 t でした。

(2) 果実

平成 28 年の名古屋市中央卸売市場の果実取扱数量は 10 万 3 千 t で、5 年前より 2 万 5 千 t 減少（同 80.2%）しました。このうち、県内産果実は 1 万 2 千 t でした。一方、県内地方卸売市場の果実取扱数量は 4 万 5 千 t で、5 年前よりも 2 万 t 減少（同 69.0%）しました。このうち、県内産果実は 1 万 6 千 t でした。

(3) 青果物の取扱数量における動向

県内地方卸売市場では、名古屋市中央卸売市場と比べ、野菜、果実ともに取扱数量の減少率が大きくなっています。その主な要因として、系統出荷や農産物直売所での販売等が増加し、地方卸売市場への出荷量が減少していることが挙げられます。

また、主要品目では、減少傾向にある品目が多い一方で、野菜のミニトマトが増加傾向にあるほか、トマトや果実のかきも取扱数量が比較的安定しています。

表 1 県内卸売市場における青果物の取扱数量

[単位：万 t]

		平成28年			平成23年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
名古屋市中央	野菜	38.8	7.3	18.9%	40.0	8.4	20.9%
	果実	10.3	1.2	11.4%	12.9	1.4	11.1%
県内地方	野菜	12.1	5.1	42.4%	17.6	6.5	36.7%
	果実	4.5	1.6	35.5%	6.5	2.0	31.3%

(注)表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

2 県内地方卸売市場の花きについて

(1) 切り花

平成 28 年の切り花取扱数量は 2 億 3 千 1 百万本で、5 年前より 2 千 9 百万本減少（同 88.8%）しました。このうち、県内産切り花は 9 千 7 百万本でした（表 2）。

(2) 鉢物

鉢物（花壇用苗物等含む）の取扱数量は 6 千 2 百万鉢で、5 年前より 1 千 3 百万鉢減少（同 82.6%）しました。このうち、県内産鉢物は 2 千 5 百万鉢でした（表 2）。

(3) 花きの取扱数量における動向

切り花、鉢花ともに、市場全体・県内産の取扱数量は減少傾向にあります。また、県内産では、切り花は各品目において減少傾向にある一方で、鉢花は観葉植物が横ばい傾向（同 97.4%）にあり相対的な市場占有率を伸ばしています。

表 2 県内地方卸売市場における花きの取扱量

[単位：千万本、千万鉢]

		平成28年			平成23年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
県内地方	切り花	23.1	9.7	41.9%	26.0	11.4	43.7%
	鉢物	6.2	2.5	41.1%	7.5	3.1	41.7%

(注)表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

「あいち花フェスタ in 東三河」を開催しました

園芸農産課



「あいち花フェスタ」は全国一の花き生産を誇る「花の王国あいち」をPRし、花に親しみ、花のある暮らしを提案する県民参加型のイベントで、平成24年度から開催しています。5回目となる今回は国内最大の花の産地である東三河地域で開催しました。

1 開催概要

(1) 主催

あいち花フェスタ in 東三河実行委員会

〔愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、JAグループ愛知、愛知県花き温室園芸組合連合会、ひまわり農業協同組合、蒲郡市農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合〕

(2) 期日・場所

ア プレステージ

開催日：平成29年11月4日（土）・5日（日）

場 所：ほの国百貨店（豊橋市）において第16回フラワードリームに併せて開催

イ メインステージ

開催日：平成30年2月9日（金）から12日（月・振休）まで

場 所：田原文化会館・田原市総合体育館

2 主な内容

(1) フラワーディスプレイ

ア メインディスプレイ



「百花繚乱の BONSAI」

東三河地域で生産された多様な切花を「盆栽」に見立てて展示

イ フラワーバレンタインディスプレイ



「ハートのお花畑」

田原市の観光資源「菜の花」を使ったハート型ディスプレイ

ウ 生産者団体等によるディスプレイ



J A 豊橋・豊橋市花き園芸振興協議会



J A ひまわり・ひまわり農協花き連合



J A 蒲郡市・蒲郡市花き生産振興協議会



J A 愛知みなみ・愛知みなみ農協営農協議会



愛知県花き連 花き PR 部会



田原市の各小学校で制作したプランター

エ 品評会展示（あいちフラワーコンテスト）



あいちフラワーコンテスト出展物
県内の花き生産者が育てた切花・鉢物 454 点を一堂に展示

(2) 催事

ア 花縁日(はなえんにち)

子供達が気軽に遊んで花に親しむ「お花の縁日」を開催しました。輪が入った的と同じ花がもらえる「お花のわなげ」、造花の中から生花を見つけて生花の特徴を理解してもらおう「ホンモノのお花を探せ」など、7種類のコンテンツを大人から子どもまでファミリーで楽しんでもらいました。



花縁日を楽しむ来場者

イ ステージイベント

いけばなのデモンストレーションやブーケ制作コンテスト「ブーケの鉄人!」、子どもによる花贈り、ご当地アイドルステージなど、花を使ったパフォーマンスや各種イベントを開催しました。



いけばなデモンストレーション ブーケ制作コンテスト

子どもによる花贈り

ウ そのほかの催事

花の体験教室、花の栽培施設を巡るツアーなど、メインステージ会場内外において、様々なイベントを開催しました。



お花の体験教室

初心者や子供でも楽しめる体験教室を6回開催



花の栽培施設を巡るツアー

専用バスで生産者のほ場や集出荷場を見学



花と野菜の産直コーナー

花き、農産物、地元特産品等の即売



「東三河グルメ祭り」

東三河地域のご当地グルメ、東三河産の食材を活用した飲食ブースが24店出店

3 開催結果

(1) 来場者数

60,900人

(プレステージ13,000人、メインステージ47,900人)

(2) 主な感想

来場者からは「花がいっぱいでワクワクした」「癒された」「フォトジェニックだった」などの感想が聞かれ、花を身近に感じ、暮らしに花を取り入れていただくきっかけとなりました。

花き流通情報連絡協議会による消費宣伝活動

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

花きの主要産地と京浜地域の卸売会社で構成される花き流通情報連絡協議会では、花きの生産・流通に係る情報共有のほか、消費宣伝活動や講演会、先進産地視察など幅広い活動をしています。

このたび、同協議会では消費宣伝活動として、2月10日（土）に東京都多摩市の商業施設「多摩センター丘の上パティオ」において、フラワーバレンタインと合わせた花の販促イベントを実施しました。

1 各県自慢の花きを販売

今回の消費宣伝活動は、フラワーバレンタインのPRを兼ねて実施したもので、本県産のバラを始め、宮崎県産のスイートピー、沖縄県産のトルコギキョウなど、花材7品目・計240束の販売がされました。

販売ブースでは、フラワーバレンタインのPRジャンパーに身を包んだ各県担当者が声を上げてフラワーバレンタインを紹介するとともに、各県自慢の花きを販売しました。



消費宣伝活動の様子

2 様々な年齢層にPR

今回の消費宣伝が実施された「多摩センター丘の上パティオ」は京王多摩センター駅徒歩3分に立地する商業施設で、近隣地域は都内へ通勤する方のベッドタウンとなっています。また付近にテーマパークもあり、高い年齢層の買い物客から小さな子供連れの家族まで幅広い客層となっていることが特徴です。

販売ブースには様々な年代の多くのお客様が訪れ、40～50代の女性を中心に、複数の花束を同時購入していく方も多く見られました。



販売された本県産のバラ

この消費宣伝活動では、家族連れから高い年齢層の方まで幅広く花きのPRができたと思われませんが、フラワーバレンタインとしてプレゼント用に購入された方は少なく見受けられました。フラワーバレンタインを始めとした花贈りを定着させ、花きの需要を拡大図るためには、今後ともこうした活動を積み重ねていくことが必要と考えられます。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	442	401 (91%)	295	288	岐阜 (5%) 徳島 (4%)
30年見通し	320	—	300	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の知多、稲沢、海部を中心に入荷するが、作付面積は生産者の高齢化により年々減少しており、年間入荷量は前年より大きく減少する見通し。生育状況は冷え込みで遅れているものの、3月には回復する見通しで、3月後半からは順調な入荷になると思われる。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年並となる見込み。</p>			<p>生産者の高齢化によって市場入荷量が年々減少しており、産地からの安定した供給量の確保をお願いしたい。特にこれからの入荷がピークを迎える時期は、春商材として需要の高い時期でもあるため、この時期のしっかりした出荷を望む。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	1,090	835 (77%)	319	321	群馬 (18%) 千葉 (1%) 岩手 (1%)
30年見通し	1,150	—	310	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知の入荷が7割以上を占める。本県産は1～5月、10～12月に入荷し、3、4月と12月にピークを迎える。前年秋の台風等により秋ふきを早々に切り上げた園が多く出た。そのため2月出荷の促成ふきの入荷量が多くなっており、春たけのこが表年であることも踏まえ、売り場確保のため価格は抑え気味で推移している。入荷量は今後も気温上昇とともに増加を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>本県産のふきは、春商材として業務だけでなく量販店からの引き合いも強い。一方、他県産を含め栽培面積は年々減少している。</p> <p>本年は春たけのこが表年になると思われるので、その時期に合わせた作付面積の維持拡大と、4月下旬以降の傷み対策など品質の維持をお願いしたい。</p> <p>市場側としても、新たな購買層の開拓、量販店へのプロモーションなどを取り組んでいきたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋中央卸売市場

2月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	36,244	179	195	187	166	愛知 24%
	26年	36,635	205	199	203	212	北海道 22%
	27年	34,806	229	219	247	223	鹿児島 8%
	28年	33,341	244	252	241	237	茨城 6%
	29年	32,937	236	236	237	231	熊本 5%
	5ヵ年平均	34,792	219	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	30,900	262	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知と北海道を中心に入荷する。10月の台風と天候不順、冬の冷え込みにより2月前半も根菜類や葉菜類等で高値が続いた。3月は気温が上昇し増量が見込まれるが、小玉傾向で価格高騰時に早穫りしたこともあり、平年より入荷は少ないと見られる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	25年	1,692	75	88	76	68	千葉 42%
	26年	1,619	78	80	80	77	静岡 30%
	27年	1,756	86	88	84	93	神奈川 7%
	28年	1,593	101	91	100	114	鹿児島 6%
	29年	1,508	102	99	98	113	愛知 6%
	5ヵ年平均	1,633	88	89	87	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,450	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、静岡、神奈川、鹿児島などから入荷する。低温と干ばつにより肥大が進まず小玉傾向で、価格は高値推移する見通し。愛知も2月前半は低温で遅れた分が出ていたが、小玉傾向で3月は少なめとなる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	25年	2,002	144	135	143	159	愛知 50%
	26年	1,971	148	147	141	132	徳島 46%
	27年	1,907	119	90	122	142	鹿児島 1%
	28年	1,822	122	103	124	138	千葉 1%
	29年	1,787	167	156	167	175	
	5ヵ年平均	1,898	140	126	139	149	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,200	230	240	230	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、徳島を中心に入荷する。愛知はMサイズ中心で小玉傾向。前進出荷しており、3月の残量は少ない。徳島も10月の台風と低温による肥大不足で少ない予想。入荷が増えるのは3月末頃と見られる。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は高値だった前年を大幅に上回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	134,607	206	222	205	193	千葉 15%
	26年	131,404	234	238	233	230	茨城 12%
	27年	129,212	256	250	260	257	北海道 11%
	28年	123,552	277	275	273	281	愛知 11%
	29年	127,734	261	253	263	266	神奈川 7%
	5ヵ年平均	129,302	246	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	122,000	270	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>秋冬作から春作への切り替わりの時期となる。重量野菜で秋冬作が前倒しとなり、春作が遅れているため品薄感が残る。ただ徐々に入荷が増え価格は落ち着く方向へ。月末には遅れていたものが始まるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
だいこん	25年	12,945	73	92	74	57	神奈川 55%
	26年	13,866	68	76	65	63	千葉 36%
	27年	13,301	80	87	73	77	鹿児島 6%
	28年	11,524	94	80	87	113	静岡 1%
	29年	12,181	94	94	87	98	徳島 1%
	5ヵ年平均	12,763	81	86	77	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	11,000	130	150	130	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>神奈川、千葉からの入荷がほとんどを占める。両県とも初期の生育不良などにより収量を減らしている。3月入荷分も低温の影響で小ぶりとなりそうだが需要が一段落しており不足感は和らぎそう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
にんじん	25年	6,785	154	150	153	159	徳島 43%
	26年	7,326	149	151	145	152	千葉 34%
	27年	7,397	111	95	112	123	鹿児島 6%
	28年	7,774	116	105	122	121	埼玉 5%
	29年	7,404	179	183	181	175	茨城 3%
	5ヵ年平均	7,337	141	136	142	146	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,700	180	180	190	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、千葉を中心に入荷する。作柄不良となった千葉が終盤を迎えるも、後続の徳島も低温からの生育遅れで、しばらくは品薄の状態が続く。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値となった前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	2,502	64	75	56	59	長崎	31%
	26年	2,196	76	71	81	68	兵庫	23%
	27年	2,369	89	76	107	89	茨城	17%
	28年	1,894	116	105	126	120	三重	10%
	29年	2,033	124	103	121	151	愛知	9%
	5ヵ年平均	2,199	92	85	96	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	1,800	130	130	130	130		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
い	長崎、兵庫、茨城などから入荷する。兵庫の冷蔵物は小玉で数も少ない。茨城も残量少なく、中旬からの春物も遅れている。3月に始まる長崎も低温で遅れており、入荷が増えるのは中旬以降となる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をやや上回る見込み。							
キャベツ	25年	4,380	82	96	89	71	愛知	95%
	26年	4,328	85	105	78	102	熊本	1%
	27年	4,815	71	69	75	73	兵庫	1%
	28年	4,576	76	79	73	80	茨城	1%
	29年	3,714	115	120	112	118	三重	1%
	5ヵ年平均	4,363	85	92	84	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	3,500	180	180	180	180		
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
つ	愛知中心の入荷となる。平年と比較して冬系が非常に高く、小玉が前進出荷される傾向にあり、冬系の増量は期待できない。春系は順調で中旬から増える見込みだが、低温による抽だいも懸念される。入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年を大幅に上回る見込み。							
ほうれんそう	25年	454	270	380	211	261	愛知	64%
	26年	427	309	307	349	413	茨城	26%
	27年	339	488	443	547	502	岐阜	3%
	28年	301	545	622	460	569	群馬	2%
	29年	372	387	333	414	437	徳島	2%
	5ヵ年平均	379	385	404	382	422	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	400	450	500	450	400		
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
そ	愛知を中心に茨城などから入荷する。低温もあり2月前半は異常な高値が続いた。低温と干ばつの影響が続くが、遅れていた露地物が増加するに伴い価格は下落すると思われる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
う								

東京都中央卸売市場

2月28日現在

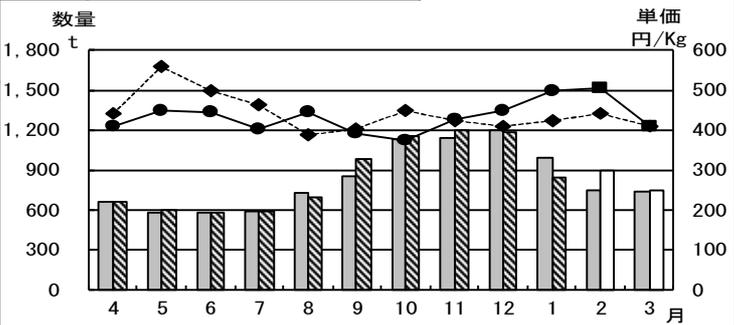
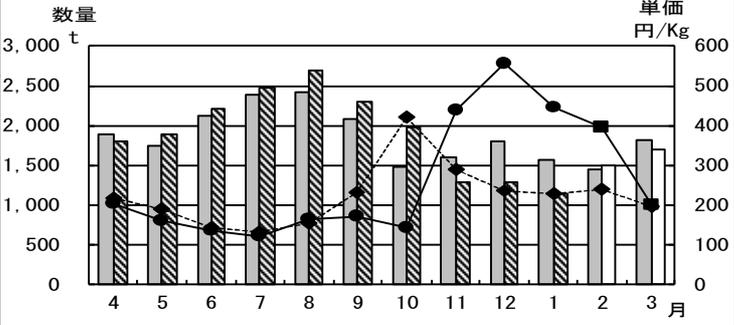
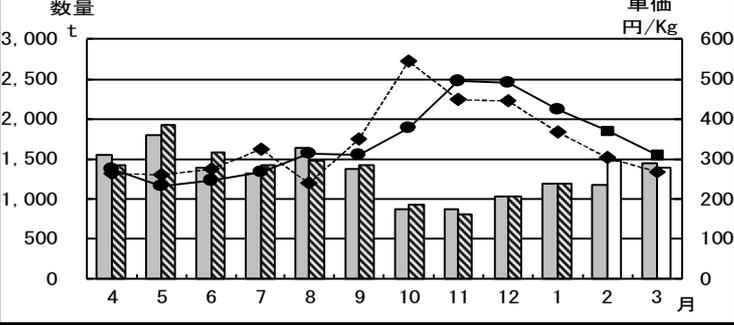
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	8,659	64	68	57	65	茨城 55%
	26年	8,960	69	67	68	75	兵庫 24%
	27年	8,213	75	59	85	83	群馬 8%
	28年	6,638	110	80	126	128	長崎 6%
	29年	7,238	130	99	127	175	愛知 2%
	5ヵ年平均	7,942	87	74	90	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,200	140	150	140	130	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、兵庫を中心に群馬、長崎からの入荷となる。終盤に入る茨城では肥大不良や降雪により正品率が低下している。兵庫も生育が芳しくなく冷蔵品は少ない。下旬は春作の出方次第で価格落ち着くか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
キャベツ	25年	17,008	89	99	90	81	愛知 59%
	26年	16,813	97	103	89	101	千葉 23%
	27年	19,246	76	67	77	84	神奈川 15%
	28年	16,826	90	87	87	96	茨城 1%
	29年	17,423	124	119	124	128	群馬 1%
	5ヵ年平均	17,463	95	94	93	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	15,700	170	190	170	150	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、神奈川、千葉からの入荷がほとんどを占める。低温と乾燥に加え、前倒し出荷で小玉傾向。中旬以降は春系を中心に増量を見込むが、各産地とも平年を下回る予測。後半は遅れていたものが出るか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ほうれんそう	25年	1,638	306	342	263	311	茨城 39%
	26年	1,607	393	418	413	349	群馬 23%
	27年	1,525	462	385	529	493	千葉 15%
	28年	1,231	551	564	501	584	埼玉 12%
	29年	1,461	399	336	453	430	栃木 6%
	5ヵ年平均	1,492	415	403	426	425	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,300	450	450	450	450	
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。ハウス栽培では低温と乾燥により生育にやや遅れがあるものの、日照は多く温度上昇とともに回復傾向にある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	909	280	327	277	261	大分 22%
	26年	833	360	380	385	347	静岡 18%
	27年	868	327	337	340	330	愛知 17%
	28年	812	388	398	399	392	鳥取 10%
	29年	741	411	416	406	412	群馬 6%
	5ヵ年平均	833	350	369	358	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	750	410	430	410	390	
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>大分、静岡、愛知、鳥取などから入荷する。大分の白ねぎは平年より少なく、鳥取も雪で遅れている。静岡は切り上がり平年より早い見通し。愛知の越津ねぎは少なかった前年と同程度の入荷となる見通し。入荷量と価格はともに入荷が少なく高値だった前年並となる見込み。</p>						
しそ	25年	1,977	160	191	159	136	茨城 47%
	26年	1,744	188	202	192	186	兵庫 26%
	27年	1,784	244	237	257	237	長崎 6%
	28年	1,617	293	353	264	277	熊本 6%
	29年	1,813	198	184	212	205	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,787	214	230	215	205	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,700	200	250	200	150	
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、兵庫を中心に長崎、熊本などから入荷する。平年は2月下旬から茨城産の入荷が始まるが、低温のため若干遅れ気味。関東産がピークを迎えるのは3月中旬の見込み。愛知は切り上がりやや遅いか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
きゅうり	25年	1,558	216	271	214	213	愛知 59%
	26年	1,420	283	307	305	266	宮崎 15%
	27年	1,285	376	441	412	310	高知 14%
	28年	1,445	309	329	320	298	鹿児島 6%
	29年	1,450	268	280	284	250	群馬 5%
	5ヵ年平均	1,431	287	322	303	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,400	310	320	310	300	
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知と高知、宮崎などの西南暖地を中心に群馬の春作も入荷する。愛知と西南暖地は作柄良好。病害虫も少なく、入荷は伸びる見通し。群馬の春作も増量しており、荷が増えると思われる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	4,884	257	295	253	225	千葉 42%
	26年	4,737	348	393	340	312	埼玉 23%
	27年	4,697	302	307	307	291	茨城 11%
	28年	4,722	365	355	382	359	群馬 5%
	29年	4,493	382	385	382	379	栃木 4%
	5ヵ年平均	4,707	330	346	332	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,700	300	320	290	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉県など関東産地からの入荷が中心となる。秋冬作が切り上がり春作に移行する。降雪と低温の影響で品質・階級に懸念が残るが、例年どおり後半には春作が増加してくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は下位等級多く前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	25年	9,065	146	185	143	114	茨城 44%
	26年	8,413	175	188	181	158	静岡 12%
	27年	7,799	233	236	243	220	香川 10%
	28年	7,312	279	344	243	258	長崎 7%
	29年	7,739	184	171	191	193	栃木 6%
	5ヵ年平均	8,066	200	222	198	185	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,000	230	220	220	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に静岡、香川などからの入荷となる。生育は遅れ気味で推移するも、各産地ともここから増量する見通し。品薄感が残り高値はまだ続くが、平年との差はかなり縮まる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅう	25年	6,535	235	276	225	213	群馬 25%
	26年	5,822	317	349	331	280	宮崎 17%
	27年	5,715	402	478	423	327	千葉 16%
	28年	6,593	336	349	352	316	埼玉 16%
	29年	6,556	283	291	292	273	茨城 11%
	5ヵ年平均	6,244	312	345	322	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,300	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、宮崎、千葉、埼玉などからの入荷が中心となる。群馬、千葉、埼玉は着果状況も良く概ね順調な生育。月の後半は増量が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な ぎ	25年	709	296	333	290	280	熊本 49%
	26年	691	332	384	331	332	愛知 45%
	27年	624	401	418	410	387	高知 6%
	28年	703	391	398	396	384	
	29年	612	394	413	407	377	
	5ヵ年平均	668	361	388	365	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	620	400	420	400	380	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本の長なすと愛知の千両を中心に高知からも入荷する。熊本は低温だったが日照はあり、気温の上昇とともに低温の影響はなくなると思われる。愛知は若干前倒し気味で、3月はやや少ないか。 入荷量と価格はともに入荷が少なく高値傾向だった前年並となる見込み。</p>						
ト マ ト	25年	1,094	392	447	386	362	熊本 54%
	26年	1,227	359	385	359	337	愛知 23%
	27年	1,100	484	501	506	451	三重 11%
	28年	1,056	494	469	503	504	岐阜 9%
	29年	1,274	339	339	341	341	群馬 1%
	5ヵ年平均	1,150	410	424	415	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,200	400	400	400	400	
マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に愛知、三重、岐阜から入荷する。他品目が高値だった一方で、トマトは安値基調となっている。一時期入荷が減少したが、気温と日照時間の上昇とともに熊本や愛知などから順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ミ ニ ト マ ト	25年	373	707	759	695	656	熊本 52%
	26年	392	655	683	645	658	愛知 33%
	27年	388	882	887	923	833	和歌山 8%
	28年	378	989	1,036	1,023	925	宮崎 7%
	29年	421	739	783	758	709	
	5ヵ年平均	390	793	828	807	755	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	400	700	700	750	650	
マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に和歌山、宮崎から入荷する。愛知はトマト同様に大きな病害もなく、作況は良い。各産地ともに増量傾向で、花つきも良く順調な入荷となるか。 入荷量は前年をやや下回るが平年より多く、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	25年	2,971	352	392	342	332	高知 62%
	26年	2,988	380	423	378	351	福岡 16%
	27年	2,759	452	461	470	428	熊本 9%
	28年	2,932	461	451	487	451	佐賀 4%
	29年	3,228	430	453	430	414	栃木 3%
	5ヵ年平均	2,976	415	436	421	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,100	430	440	430	420	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。高知はしばらく増量見込めず現状維持となる。福岡は天候次第で増量の気配。一部で灰かび病等の報告あり。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
ト	25年	6,437	413	471	411	376	熊本 32%
	26年	6,613	381	414	377	358	栃木 25%
	27年	5,883	514	538	533	479	愛知 10%
	28年	5,806	520	485	535	537	千葉 6%
	29年	6,750	372	368	378	371	茨城 4%
	5ヵ年平均	6,298	436	452	442	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,400	380	360	390	390	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、栃木、愛知などからの入荷が中心となる。熊本は量は揃うが小玉傾向。栃木も小玉傾向だが気温が上がれば増量する見込み。愛知は小玉傾向と一部産地で着果不良が散見される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
ニ	25年	1,509	656	732	649	600	熊本 37%
	26年	1,643	602	650	617	550	愛知 20%
	27年	1,446	863	879	923	793	宮崎 17%
	28年	1,470	984	1,065	998	920	千葉 8%
	29年	1,728	662	690	684	628	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,559	746	795	767	692	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	670	700	680	630	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、宮崎、千葉などからの入荷となる。熊本、愛知は冷え込みも緩み、生育は概ね良好。順調な出荷が期待される。各産地とも安定した入荷となり前年に比べ微増すると見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	530	505	643	581	398	宮崎 44%
	26年	520	530	662	625	584	鹿児島 43%
	27年	458	676	685	669	654	高知 12%
	28年	544	622	686	632	560	茨城 1%
	29年	632	432	489	472	390	
	5カ年平均	537	546	626	589	509	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	530	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。低温によりやや遅れているが、ハウス栽培のため露地栽培に比べて影響は少なく概ね順調。前半は少ないが、後半は出てくるか。入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
新ばれいしょ	25年	2,975	100	114	97	91	鹿児島 60%
	26年	3,219	130	136	137	113	北海道 40%
	27年	2,893	179	155	202	188	
	28年	2,686	238	221	242	255	
	29年	2,833	232	242	241	222	
	5カ年平均	2,921	173	171	181	171	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,900	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、北海道から入荷する。北海道の貯蔵物は小玉傾向だが計画的な入荷が見込まれる。鹿児島の新ばれいしょは3月からピークを迎えるが、全体的に大玉で順調な入荷となる見通し。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	6,849	85	95	94	87	北海道 89%
	26年	6,808	118	145	142	120	静岡 6%
	27年	6,696	99	110	104	93	愛知 4%
	28年	6,691	84	86	88	85	
	29年	6,805	100	100	108	98	
	5カ年平均	6,770	97	107	107	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に静岡、愛知から入荷する。北海道の貯蔵物は安定した入荷を見込む。静岡の新たまねぎは寒波で遅れていたが徐々に回復。愛知も静岡と同様の状況で3月末頃から増量するか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	1,766	500	629	549	374	茨城 40%
	26年	1,840	517	621	564	408	宮崎 32%
	27年	1,556	681	687	686	671	高知 16%
	28年	1,885	621	669	647	566	鹿児島 11%
	29年	2,126	468	490	484	443	
	5ヵ年平均	1,835	552	613	580	487	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,000	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地に加え、茨城からの入荷が増加する。春作の増量期に入る茨城は低温の影響で肥大が遅く、入荷量が少ないまま推移する。天候回復により増量を見込む。宮崎は生育、入荷とも順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値となった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
白菜	25年	8,914	92	94	95	89	北海道 60%
	26年	8,885	121	120	123	121	鹿児島 38%
	27年	7,727	159	151	162	162	長崎 1%
	28年	6,692	216	200	217	233	
	29年	7,493	225	226	231	221	
	5ヵ年平均	7,942	158	154	161	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,500	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島からの入荷がほとんどを占める。北海道は貯蔵物でM中心の小玉傾向。残量も少なく、終了する産地もでてくる。鹿児島は産地によって異なるが、平年並からやや大玉傾向。 入荷量は前年並で、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	11,559	98	101	96	96	北海道 74%
	26年	10,751	147	144	147	149	静岡 10%
	27年	11,546	115	125	112	110	長崎 7%
	28年	12,722	95	96	99	92	佐賀 4%
	29年	12,197	129	122	129	134	中国 3%
	5ヵ年平均	11,755	116	117	116	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	12,800	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に静岡、長崎などからの入荷となる。北海道の計画出荷は前年同様でL大中心の安定した出荷となる。静岡は生育遅れ、下位等級の割合も高くなるが、出荷量は前年より伸びると見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	8,998	344	352	339	335	青森 23%
	26年	9,208	361	356	351	358	フィリピン 14%
	27年	8,566	389	385	393	386	愛媛 11%
	28年	7,322	454	460	449	455	熊本 10%
	29年	7,427	426	391	429	433	愛知 9%
	5ヵ年平均	8,304	391	386	388	389	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	7,000	430	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>青森、フィリピン、愛媛などから入荷する。品目はかんきつ類、りんご、いちごが中心。みかんを含むかんきつ類は少ない入荷が続く見通し。他品目も一部を除き前年並かやや少ないものが多く、やや高め相場予想。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並だが平年をかなり上回る見込み。</p>						
りんご	25年	1,956	251	249	254	249	青森 98%
	26年	1,794	306	310	308	279	長野 1%
	27年	1,941	309	307	310	317	岩手 1%
	28年	1,752	342	342	349	349	
	29年	1,764	283	290	279	277	
	5ヵ年平均	1,841	297	299	299	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	1,750	290	—	—	—		
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>ほぼ全量を青森から入荷する。3月は貯蔵物が中心の入荷となるが、全体的に小玉傾向で上位等級は少ない見込み。入荷量は前年並となるが平年よりもかなり少なく、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
いちご	25年	1,317	949	1,050	917	885	愛知 56%
	26年	1,438	887	922	902	899	熊本 24%
	27年	1,155	1,098	1,206	1,208	936	鹿児島 7%
	28年	1,080	1,200	1,416	1,178	1,044	佐賀 5%
	29年	1,050	1,163	1,158	1,191	1,150	三重 3%
	5ヵ年平均	1,208	1,045	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	1,100	1,050	—	—	—		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に熊本などからも入荷する。2番果が終盤を迎え、3番果が始まる時期となる。先月時点では低温による着色遅れ等が懸念されていたが、3月は順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	33,492	374	385	382	355	青森 23%
	26年	35,429	389	388	385	395	愛媛 15%
	27年	33,242	436	418	442	449	熊本 9%
	28年	30,808	502	498	492	515	フィリピン 7%
	29年	32,767	462	454	454	475	栃木 7%
	5ヵ年平均	33,148	431	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	31,500	480	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	りんご、みかん、いちごを中心に入荷する。みかんは前年を下回る入荷となり高値が続くが、流通在庫が増えており価格は前年をやや上回る程度まで落ち着く見込み。中晩柑類は前年並の入荷を見込むものの、着果不良や正品率の低下が見られる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
りんご	25年	6,825	236	236	239	232	青森 99%
	26年	6,017	294	295	294	293	長野 1%
	27年	7,203	297	288	297	302	
	28年	6,903	329	320	331	334	
	29年	7,655	266	268	270	258	
	5ヵ年平均	6,921	284	281	286	283	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	310	310	300	310	
かんきつ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森から「ふじ」「ジョナゴールド」「王林」などの貯蔵もの中心に入荷する。小玉傾向となっているが、かんきつ類などの価格高騰により引き合い強い状況が続いており、前年より在庫量は少ない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
いちご	25年	5,529	969	1,108	955	871	栃木 40%
	26年	6,008	968	1,027	993	898	福岡 18%
	27年	5,157	1,176	1,280	1,232	1,055	佐賀 12%
	28年	5,344	1,238	1,346	1,259	1,147	茨城 10%
	29年	5,252	1,209	1,209	1,207	1,212	静岡 8%
	5ヵ年平均	5,458	1,107	1,189	1,124	1,031	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,250	1,150	1,180	1,150	1,120	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木や茨城中心に「とちおとめ」、福岡から「あまおう」、佐賀から「さがほのか」等が入荷する。「とちおとめ」は生育順調で3番果の出荷が本格化する中～下旬にピークを迎える。「さがほのか」は低温の影響で2月出荷量は前年を下回ったが、3月は前年並の入荷となる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。						

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	25年	2,089	54	
		26年	2,127	56	
		27年	2,036	59	
		28年	1,986	61	
		29年	2,023	58	
	5ヶ年平均		2,052	57	
	30年見通し		2,050	57	
概要	愛知、三重、沖縄などから入荷する。生育は各地区順調な状況で出荷は順次増加していく。彼岸需要もあり、9日頃からの入荷は堅調な動きとなると思われる。				
小 ぎ	実績	25年	2,774	21	
		26年	2,640	24	
		27年	2,438	33	
		28年	2,365	36	
		29年	2,367	35	
	5ヶ年平均		2,517	29	
	30年見通し		2,500	32	
概要	沖縄を中心に入荷する。前年よりも作付けは増えている。色の割合は黄の比率が高く、白はやや少なめ。生育は順調で中旬の需要期に合わせた出荷が見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	25年	1,632	34	
		26年	1,433	44	
		27年	1,290	51	
		28年	1,130	59	
		29年	1,499	46	
	5ヶ年平均		1,397	46	
	30年見通し		1,350	50	
概要	愛知、和歌山、長野などから入荷する。業務中心の需要の中、年内から厳しい寒さが続いたため、数量は少なめの単価高で推移しており、前半は彼岸需要、後半は卒業式等でそこそこの単価で推移する。				
か す み	実績	25年	231	73	
		26年	219	97	
		27年	272	78	
		28年	191	102	
		29年	242	81	
	5ヶ年平均		231	85	
	30年見通し		230	90	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。入荷は順調で、10日頃から活発な動きとなる見込み。相場は上位から下位まで強い引き合い。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	386	154	
		26年	353	182	
		27年	325	200	
		28年	295	214	
		29年	368	168	
	5ヶ年平均		345	182	
	30年見通し		350	180	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉などから入荷する。鉄砲は高知、九州、LAは埼玉から入荷する。ゆり全体で遅れ気味の生育で、中旬以降急激に増加することも見込まれる。上旬から業務や一般需要もあり、相場は中値安定か。</p>				
洋らん	実績	25年	533	64	
		26年	529	77	
		27年	537	77	
		28年	579	73	
		29年	503	82	
	5ヶ年平均		536	75	
	30年見通し		530	80	
概要	<p>徳島、愛知、高知を中心に入荷する。全般的に遅れ気味だったが、寒さが緩めば入荷量も増加してくる見込み。寒い中動きが鈍かった物も少しずつ動きが出ると思われる。</p>				
ばら	実績	25年	937	88	
		26年	916	98	
		27年	986	86	
		28年	938	89	
		29年	1,072	83	
	5ヶ年平均		970	89	
	30年見通し		980	85	
概要	<p>愛知、岐阜、和歌山、三重が中心で入荷量も増える見込み。イベントなど多方面の需要が見込め、堅調な相場で推移すると思われる。</p>				
枝も	実績	25年	1,861	44	
		26年	1,704	50	
		27年	1,736	51	
		28年	1,631	51	
		29年	1,812	52	
	5ヶ年平均		1,749	50	
	30年見通し		1,700	50	
概要	<p>静岡、長野を中心に入荷する。卒業式、歓送迎会等のイベントもあり、花物や芽物は堅調に推移すると思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	25年	11,932	349	
		26年	7,406	347	
		27年	4,811	406	
		28年	1,382	464	
		29年	6,743	306	
	5ヶ年平均		6,455	353	
	30年見通し		6,700	306	
概要	入荷量は前年並か。中旬より4号～5号鉢中心に徐々に出荷が増え始める。相場も前年並に推移する見込みだが、ピンク・黄色系の発色の良い物は引き合いが強くなる見込み。前年3月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（47.4%）、2位長野（41.0%）、3位埼玉（11.7%）となっている。				
ファレノ	実績	25年	32,374	3,245	
		26年	36,372	3,516	
		27年	30,961	4,064	
		28年	33,658	3,922	
		29年	34,518	3,580	
	5ヶ年平均		33,577	3,659	
	30年見通し		34,000	3,632	
概要	入荷量は前年並か。前年同様3月は安定して売れる予想で、上旬は比較的安価なミディー系、下旬は高額の大輪系の引き合いが強くなる見込み。2月の気温が低く、燃料代がかさむが下旬の需要期に上手に開花を合わせてもらいたい。前年3月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（55.2%）、2位宮崎（7.7%）、3位静岡（7.1%）となっている。				
バラ及びミニバラ	実績	25年	71,652	256	
		26年	76,351	251	
		27年	68,327	248	
		28年	71,715	217	
		29年	67,441	196	
	5ヶ年平均		71,097	234	
	30年見通し		65,000	192	
概要	入荷量は前年より減少か。1～2月の低温や重油価格の上昇から生育が遅れ気味で、後半になってから増加する見込み。価格面で厳しい状況が続いているが、品質にこだわった商品の出荷もお願いしたい。前年3月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（47.7%）、2位岐阜（43.6%）、3位愛媛（6.3%）となっている。				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	25年	86,502	234	
		26年	85,066	223	
		27年	82,681	246	
		28年	82,645	223	
		29年	85,668	201	
	5ヶ年平均		84,512	225	
	30年見通し		83,000	199	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。卒業シーズン前の駆け込み需要に合わせて作付けはかなり多くなっているが、寒さの影響で大幅に遅れると予想され、中盤には品薄になることが見込まれる。前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(29.5%)、2位奈良(18.0%)、3位埼玉(10.3%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	25年	84,652	156	
		26年	86,332	160	
		27年	85,687	174	
		28年	96,804	178	
		29年	91,370	181	
	5ヶ年平均		88,969	170	
	30年見通し		93,000	178	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。厳寒な2月の状況から出荷が3月に遅れることが予想され、数量は増える見込み。対して末端の売れ行きは鈍く、市況全般は弱含みが予想される。前年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(22.2%)、2位静岡(18.8%)、3位埼玉(18.3%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	25年	32,692	723	
		26年	34,082	715	
		27年	32,282	759	
		28年	28,231	718	
		29年	27,041	629	
	5ヶ年平均		30,866	711	
	30年見通し		25,000	660	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。主要県の愛知、岡山は生産量が減少傾向にある。上旬は卒業、卒園のお手軽なお祝い需要、下旬は退職や人事異動等の高額需要がある予想。下旬の需要は仕入れてすぐに使うため、固めよりは比較的咲かせての出荷が好まれる。前年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(50.8%)、2位岡山(17.3%)、3位高知(16.1%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.537
平成30年3月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434